

公益財団法人 アダチ伝統木版画技術保存財団

---

# 事業報告書

---

令和5年度

## 令和5年度事業報告書

(自：令和5年4月1日)

(至：令和6年3月31日)

### I. 事業の状況

令和5年度において実施された各事業を定款第3条に定める事業内容の項目別により、次のように報告を行うものである。

〈事業内容〉

(1) 伝統木版画の制作技術等に関する調査研究等の奨励

#### ① 研究等奨励交付事業

本事業のうち、絵画部門(木版画の版下絵等の作品公募)に焦点をあてた公募(「アダチ UKIYO E 大賞」)の第15回目を既存の奨励賞募集と共に実施した。

アダチ UKIYO E 大賞に関しては、昨年度同様、「現代の浮世絵を描く才能のあるアーティストを発掘する」という公募趣旨に沿って、制作した作品を紹介するポートフォリオのみの募集を行い、審査を実施した。作品の公募期間は令和5年7月22日から令和5年12月25日までの約5ヶ月間とした。公募の告知は、コロナ以前まで実施していた全国の美術館や主な美術系学校でのポスター・チラシの設置を再開し、公募専門の雑誌やホームページ(日・英)及び本財団ホームページなどインターネット上での告知(日・英)を実施した。そして、既存の郵送による申込と、本年度より新たに開始したオンラインでの申込(日・英)を行った。その結果127件の応募があり、令和6年1月26日に開催された審査委員会にて、大賞1件(奨励金総額30万円)・優秀賞1件(奨励金総額15万円)を選考決定した。佳作(奨励金総額各5万円)については、該当者は無しとなった。応募者の内訳としては、本年度新たに始めた日・英によるオンライン申込受付により、海外からの申込が81件、国内からの申込が46件と、海外からの申込が前年度と比べ、大幅に増えた。特に海外81件の申込者の居住国は35か国にわたり、海外からの関心の高さをうかがわせる結果となった。また、本年度の大賞受賞者は、アメリカ合衆国からの応募者で、本公募における初の外国人受賞者となった。

本公募では本年度も、応募者の画風や力量、日頃の制作活動の成果に重点を置いて総合的に審査をし、現代の浮世絵師としての可能性を秘めた対象者を選出することができた。昨年度に引き続き、来場による授与式は中止とし、奨励対象者には交付認定書ならびに奨励金を郵送にて授与した。受賞作品の2作品は、令和6年度に木版画として制作され、現代の浮世絵として誕生することとなる。

既存の奨励賞については、伝統木版画の研究者ならびに関係者各位からも奨励テーマの推薦を受けると共に、広範囲に認知度の高揚をはかった。しかし、公募期間中に奨励テーマの応募や推薦は皆無であったため、本年度奨励対象該当者は無しとなった。

◆令和5年度 アダチ UKIYO E 大賞審査委員(4名)

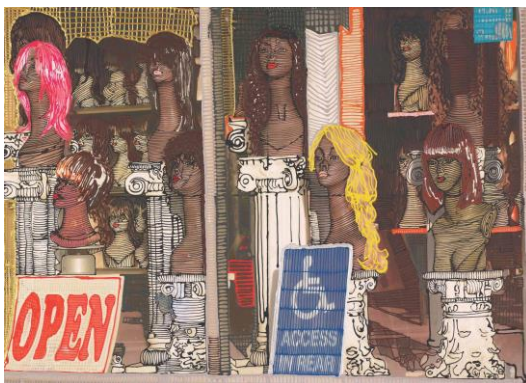
小山登美夫      ギャラリスト  
三井田盛一郎    東京芸術大学 美術学部絵画科 教授  
山下裕二        明治学院大学 文学部芸術学科 教授  
安達以乍牟      本財団理事長

(敬称略・五十音順)



第15回アダチ UKIYO E 大賞受賞作品

《大賞》            賞金 30 万円 + 木版画として制作  
・奨励対象者    Jaime Scholnick (アメリカ合衆国)  
《優秀賞》        賞金 15 万円 + 木版画として制作  
・奨励対象者    中島 華映 (日本)  
《佳作》           賞金 5 万円  
・該当者無し



「THE WIG SHOP」  
大賞 Jaime Scholnick ポートフォリオ作品から



「花くだりの休息」  
優秀賞 中島華映 ポートフォリオ作品から

〈事業内容〉

(2) 伝統木版画の制作技術者の育成事業

## ②後継者育成事業

当該事業のうち、伝統木版画の制作技術等の保存および育成に取り組んでいる現行唯一の任意団体「浮世絵木版画彫摺技術保存協会」に対する育成金交付については、育成対象者が無かったため、本年度も実施を見送った。

一方、伝統木版画に強い興味と適正能力をもつ学生等を対象として、総合的に高度な専門技術を習得させることを意図した「高度技術者研修」事業についても、本年度は適性を有する該当者が無かったため、前期（令和5年4月～令和5年9月）の高度技術研修生の研修は見送った。また、第27期高度技術研修生を採用するにあたり、令和5年7月～令和5年12月まで募集を行った。本募集の告知は、本財団ホームページ及び伝統工芸職人の求人サイト「四季の美」での紹介、全国の美術系大学および専門学校や問い合わせのあった個人に対して応募要項を送付するなどして行った。その結果4名の応募者があり、書類選考の結果、適性を有する該当者が無く、第27期高度技術研修生（前期）の採用は見送ることとした。次年度からは、募集方法や対象を広げ、伝統木版画に対して深い興味を持つ学生などの応募を促すよう努めるものとする。

### ◆第27期高度技術研修生（前期）

該当者なし

### ◆技術研修所

東京都新宿区下落合3-13-17

〈事業内容〉

(3) 伝統木版画の制作技術者に関する研修会の開催

## ③技術実演・研修事業

### 1) 技術実演会

主に大学・専門学校・高校などの教育機関、美術館および博物館などの文化施設を対象として、伝統木版画の制作技術等に関する啓蒙普及をはかるために、これまで本財団の理事ならびに評議員の中より伝統木版画の制作技術等に精通する数名を講師として要請のあった施設に派遣し、「技術実演会」を行ってきた。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の状況が改善したことを受け、国内の美術館や博物館で開催される浮世絵の展覧会にあわせた技術実演の依頼を10件程度受けた。また、本財団常設展示室において平成9年10月から年数回、土曜日に実施していた「浮世絵版画実演会」については、摺の実演を4回、摺と彫の両方を見せる実演を1回、海外の参加者を対象とした英語解説付きの実演を1回、計6回の実演を行った。各回の来場者の数や質疑応答の様子などは、伝統木版技術に対する関心度の高さを示すものであった。

## 実演・体験実施状況

- ・日本国際協力センター（令和5年4月）
- ・Far Fung Places（令和5年5月）
- ・すみだ北斎美術館（令和5年8月）
- ・太田記念美術館（令和5年8月）
- ・葛飾区郷土と天文の博物館（令和5年8月）
- ・広重美術館—石巻市博物館—（令和5年9月）
- ・東京藝術大学版画研究室（令和5年10月）
- ・米国 サンフランシスコ美術館（令和5年10月）
- ・広重美術館—米沢市上杉博物館—（令和5年11月）
- ・英国 ロイヤルアカデミー（令和5年12月）
- ・千葉市美術館（令和6年1月）

### ◆ すみだ北斎美術館

- ・実施日程 令和5年8月5日
- ・講師 摺師：長沼翔太（アダチ版画研究所所属）  
解説：中山周（本財団理事）
- ・実施内容 摺師による浮世絵版画「北斎 神奈川沖浪裏」の摺実演と伝統木版画に関する道具や制作等の説明・質疑応答及び体験  
午前（外国人向け・実演通訳付）午後（親子向け・体験付）
- ・参加者数 午前：約40名 午後：15組30名



摺実演風景



摺体験風景

## 2) 研修事業

木版画に強い関心を抱く一般の愛好家を対象として、初級技術の習得を意図した「職人に学ぶ木版画教室」は、昨年度同様、全2回の1クラス（定員19名）にて実施した。また、平成26年度より始まった②後継者育成事業の研修対象者を選抜することを目的としたインターンシップ型研修会については、適性を有する該当者が無かったため、実施は見送りとした。来年度以降も広く一般に参加者を募り、研修制度に続くような研修会を行う予定である。

#### ◆ 「職人に学ぶ木版画教室」の骨子

- ・ 研修テーマ 伝統木版画の基礎的技術の実践
- ・ 日 程 令和5年9月30日、10月14日 計2回開催
- ・ 場 所 本財団常設展示室
- ・ 参加人数 計19名（うち本財団賛助会員5名）
- ・ 研修講師 彫師：岸 千倉（アダチ版画研究所所属）  
摺師：京増与志夫（アダチ版画研究所所属）



彫師の実演風景



摺師の実演風景



参加者の作業風景



参加者の完成作品

#### 〈事業内容〉

- (4) 伝統木版画の制作技術等に関する資料の収集及び公開

### ④ 技術展示紹介事業

現在の常設展示室が木版画の総合施設として一般公開され、本年度で19年目を迎えた。開設以来、本財団が保存管理する複製版木（総数約1,200点）と多数の文献資料について、その整理をするとともに、新たに伝統木版画の制作技術等に関する資料（道具・材料・制作工程等）の整備も行ってきた。その結果、より充実した形で常設展示が出来るようになり、伝統木版画に興味を持つ多くの個人や団体が常設展示室を訪れるようになっている。また、本年度も、教育機関、美術館および博物館などの文化施設において浮世絵展が開催されたのに合わせ、国内外から制作技術を紹介するために展示資料の貸出や体験用の版木

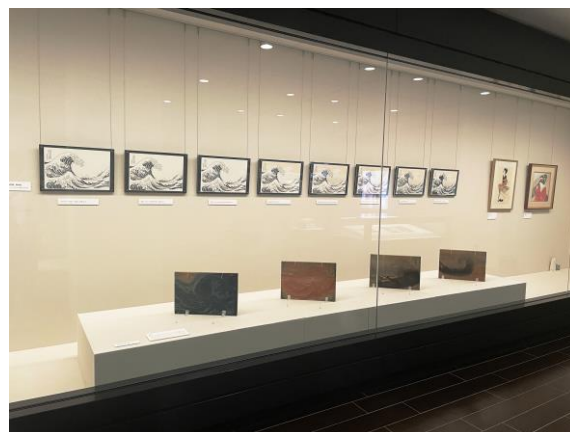
制作の依頼を受けた。

そして、本財団常設展示室においては、企画展「一富士山世界文化遺産登録 10 周年記念 — 現代の匠の技で迎える 浮世絵の富士山」を始め、本財団監修で完成した現代のアーティスト、塩田千春氏のオリジナル木版画の完成披露特別展示などを開催した。また、②技術実演・研修事業での事業成果を発表する機会の一環として「職人に学ぶ木版画教室」作品展示会を実施した。

#### ◆ 展示品および資料の貸出し

浮世絵版画摺り順序、彫摺道具一式

- ・「木版画の世界-越前和紙と木版画-」越前和紙の里 紙の文化博物館  
(令和 5 年 5 月～7 月)
- ・「Hokusai: Inspiration and Influence」Seattle Art Museum (米国・シアトル)  
(令和 5 年 10 月～令和 6 年 1 月)
- ・「James' Eternal Spiral II」A4 Art Museum (中国・成都)  
(令和 5 年 7 月～11 月)



「木版画の世界-越前和紙と木版画-」越前和紙の里 紙の文化博物館



「Hokusai: Inspiration and Influence」Seattle Art Museum

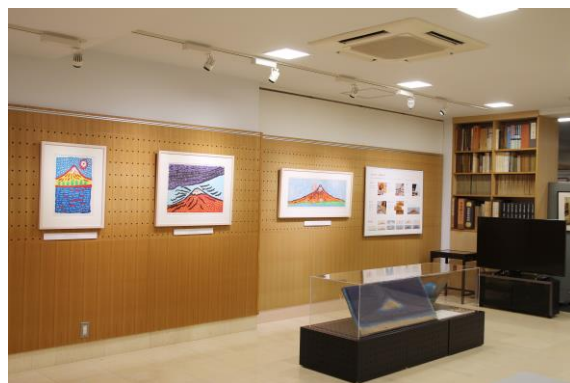
#### < 常設展示室 >

東京都新宿区下落合 3-13-17

## ◆ 企画展「一富士山世界文化遺産登録 10 周年記念— 現代の匠の技で迎える 浮世絵の富士山」

富士山の世界文化遺産登録 10 周年を記念して、本財団展示室において企画展『富士山世界文化遺産登録 10 周年記念 現代の匠の技で迎える 浮世絵の富士山』を開催した。本展では、富士山の描かれた浮世絵を木版制作という独自の視点から展示解説し、西洋絵画の発展に大きな影響を与えた浮世絵の富士山の魅力を紹介した。また、世界遺産に登録された富士山を前衛芸術家・草間彌生氏が木版画のために描き下ろし、現代の匠と共に制作した「七色の富士」全図を会期中併せて展観した。

- ・実施期間 令和 5 年 6 月 20 日～令和 5 年 8 月 12 日
- ・実施場所 本財団目白常設展示室
- ・来場者数 372 名（日本人 309 名、外国人 63 名）



## ◆ 塩田千春 オリジナル木版画 完成披露 特別展示

世界的な評価を得ているアーティスト・塩田千春のオリジナル木版画作品が本財団の監修のもと、伝統木版技術を継承する技術者の手により完成したことから、その特別展示を本財団目白常設展示室にて実施した。本作品に顕著に現れている、和紙に水性の絵の具を摺り込むことによって生まれる伝統木版画独特の色鮮やかさや多様な表現を紹介するために、版木の展示も併せて行った。

- ・実施期間 令和 6 年 1 月 26 日～令和 6 年 2 月 3 日
- ・実施場所 本財団目白常設展示室
- ・来場者数 57 名（日本人 52 名、外国人 5 名）



展示風景

## ◆「職人に学ぶ木版画教室」作品展示会

令和5年9月～10月に開催された初級技術研修会「職人に学ぶ木版画教室」の参加者19名の制作作品の展示を令和6年1月9日から令和6年1月27日まで本財団常設展示室にて行った。

〈事業内容〉

(5) 伝統木版画の制作技術等に関する情報の提供及び刊行物の発行

## ⑤情報提供事業

当該事業は、業界団体・研究機関・一般団体等が主催する展覧会等からの各種資料の貸出し依頼、また一般からの制作技術等に関する問合せ及び相談等の要請に応え、情報センター的機能を果たすものである。近年、DVD「匠達の技」(和英二カ国語版)の放映依頼が国内外で開催される浮世絵展にあわせて多くなっている。これは、浮世絵制作技術に対する関心の高まりを示すものといえる。また、和英併記にて制作した財団紹介小誌を国内外の美術館へ配布することにより、本財団の活動への理解が促進された。

また例年に引き続き、本財団が展開する事業の成果や活動状況を賛助会員の他、広く一般にも伝えるために「財団レポート木版」が、令和5年7月に発行された。このレポートは、年度内に行われた事業報告を行うことを目的として作成され、収支計算書と併せて、財団常設展示室の来場者を中心に一般にも無償配布を行った。更に賛助会員に対しては、本財団の活動に関する最新情報をリアルタイムで告知するために、メールでの活動の報告も併せて実施した。

## ◆ 画像の貸出

- ・ NHKエンタープライズ (令和5年7月)
- ・ 信州大学教育学部 (令和5年9月)
- ・ 博報堂 (令和5年9月)
- ・ 日本文教出版株式会社 (令和6年3月)

他約20件

## ◆ 本財団ホームページ

平成8年に開設した本財団のインターネットにおけるホームページでは、事業内容やその成果、伝統木版画に関する情報提供等を行ってきた。特に、情報センターや技術実演会への問い合わせの多くは、ホームページからなされ、事業活動の活性化にとって、大きな役割を担ってきている。また近年では、海外の美術館から浮世絵展開催にあたり、制作に関する展示やDVD放映などに関する依頼も増えており、海外の方の伝統木版技術への関心が高まっている。そのため、本財団ホームページを平成28年7月に和英二ヶ国語対応、スマートフォンに対応したサイトへと改編した。また同時に、賛助会員の申込みをホームページ上から出来るようにしたことで、海外の賛助会員の獲得にもつながっている。

- ・ ホームページ URL <http://www.adachi-hanga.com/foundation/>

〈事業内容〉

(6)その他この法人の目的を達成するために必要な事業

## ⑥木版画制作監修事業

当該事業は、伝統木版画の制作技術を高いレベルで維持・継承するために、浮世絵版画の復刻事業だけでなく、様々なジャンルのアーティストの方々に絵師となっただき、彫師・摺師とともに新たな木版画の制作監修を行うことで、木版画の可能性を追求するものである。本年度は、世界で活躍される塩田千春氏、宮崎優氏、花井祐介氏、feebee 氏の木版画制作を第一級の技術者によって実施した。また、賛助会員向けの進呈作品には、本財団主催のアダチ UKIYO E 大賞の受賞者である榊原太朗氏(第 13 回大賞)、加藤正臣氏(第 14 回優秀賞)に木版画のための作品を提供いただき、制作が行われた。

### ◆ 宮崎 優「櫛にながるる黒髪」(令和 5 年 7 月・制作)

- ・画面寸法：天地 352 mm×左右 240 mm
- ・制作担当：彫／長谷川博美(アダチ版画研究所所属)  
摺／藤代果乃女(アダチ版画研究所所属)



### ◆ 花井祐介「無題 3」(令和 5 年 9 月・制作)

- ・画面寸法：天地 410 mm×左右 310 mm
- ・制作担当：彫／岸 千倉(アダチ版画研究所所属)  
摺／鈴木茉莉奈(アダチ版画研究所所属)



◆ feebee「寿という獣 辰」（令和5年12月・制作）

- ・画面寸法：天地 230 mm×左右 230 mm
- ・制作担当：彫／長谷川博美（アダチ版画研究所所属）  
摺／鈴木茉莉奈（アダチ版画研究所所属）



◆ 塩田千春「Connected to the Universe -Red Waves, Red Lines, Red Circles-」  
（令和6年1月・制作）

- ・画面寸法：各図天地 410 mm×左右 270 mm
- ・制作担当：彫／新實護允（本財団評議員）  
岸 千倉（アダチ版画研究所所属）  
長谷川博美（アダチ版画研究所所属）  
摺／岸 翔子（アダチ版画研究所所属）  
藤代果乃女（アダチ版画研究所所属）  
鈴木茉莉奈（アダチ版画研究所所属）



第13回アダチ UKIYO E 大賞 大賞

◆ 榊原太朗「Yoshitoshi from 1892 to 2002」  
（令和5年12月・制作）

- ・画面寸法：天地 319 mm×左右 230 mm
- ・制作担当：彫／山下真佳（アダチ版画研究所所属）  
摺／鈴木茉莉奈（アダチ版画研究所所属）



第14回アダチ UKIYO E 大賞 優秀賞

◆ 加藤正臣「憩う」(令和5年12月・制作)

- ・画面寸法：天地 230 mm × 左右 365 mm
- ・制作担当：彫／山下真佳(アダチ版画研究所所属)  
摺／藤代果乃女(アダチ版画研究所所属)



令和5年度事業報告書 附属明細書

(自：令和5年4月1日)

(至：令和6年3月31日)

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益財団法人 アダチ伝統木版画技術保存財団